

EPP工法[®] 注意事項

使用上の注意事項

- ・使用前に事前調査を行い、適正条件を確認した上で、本施工を行ってください。
塗装系、塗膜厚、塗膜劣化の程度、剥離対象部材の形状、実施時温度などによって施工条件は変わります。
- ・ご使用前によく攪拌をしてください。
- ・希釈せず原液のままご使用ください。
- ・結露面・油脂・泥・苔・鳥糞等は除去して使用してください。剥離性能の低下の原因となります。
- ・施工時の湿度は85%以下が望ましいですが、鋼材の表面に剥離剤が定着すれば、85%以上でも反応いたします。
- ・施工時の施工環境温度は、0℃～になります。但し、0℃～10℃の間では反応時間が遅くなるため、養生時間を増やすなどの処置が必要な場合があります。0℃以下では反応しないことがあります。
- ・剥離作業時に使用する手工具が入らないような狭隙部には剥離剤を塗布しないでください。
- ・剥離作業に使用した道具類は、水または弊社推奨の専用クリーナー(水性)をご使用ください。
作業後の排水については、各都道府県の条例に従い適切な処理をお願いいたします。
- ・容器はその都度密栓し、直射日光の当たらない涼しく換気の良いところに施錠して保管してください。

取扱・安全上の注意事項

- ・使用前には必ず安全データシート(SDS)をお読みください。
- ・関係法令を遵守し、労働災害防止に努めてください。
- ・周辺で火気、スパーク、高温物の使用をしないでください。
- ・工具は火花防止型のもを使用してください。
- ・作業には十分な換気を行ってください。
- ・安全衛生保護具は適切な保護具を着用してください。また、取り扱い後は手・顔などをよく洗い休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないようにしてください。
- ・剥離剤を誤って飲み込む、皮膚に付着する、揮発成分を吸入する、目に入る等をして体調に変化がある場合は、すみやかに医師の診断手当てを受けてください。

廃棄上の注意

- ・廃棄については、内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託してください。
- ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者などに廃棄物の危険性、有害性を十分に告知の上で委託してください。

*本書に記載された内容は、製品の改良のために予告なく変更する場合があります。ご使用の際の不明点は、お問い合わせください。

施工実績

■田浦第二高架橋耐震補強工事【東日本高速道路株】



■舞浜大橋右岸ランプ橋（山側）【関東地方整備局】



■打越橋補修工事【横浜市】



■メナイ吊橋（英国）



■フォース鉄道橋（英国）



販売元

JFE エンジニアリング 株式会社

改築事業部 営業部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号

TEL: 03-3539-7225 FAX: 03-3539-7231

<https://www.jfe-eng.co.jp>

製造者

socomore

株式会社ソコモアジャパン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-3

新横浜ウエストビル701

TEL: 045-620-3567

水性塗膜剥離剤 **アクアインプラス**

EPP工法[®]
(エコ・ペイント・ピーリング工法)
Eco Paint Peeling Method

JFE エンジニアリング 株式会社

環境に対応 塗るだけで塗膜が浮き上がる。簡単に安全な作業環境を実現。

土木鋼構造用塗膜剥離剤ガイドライン(案)、(国研)土木研究所(平成29年3月)
付属資料1「土木鋼構造用剥離剤及びこれを用いた塗膜除去工法の品質規格(暫定案)に対応



作業環境の改善に大きく貢献!

アクアインプラスは、塗膜面に塗布するだけで塗膜が浮き上がり剥離することができる水性剥離剤です。アクアインプラスを使用した塗膜剥離工法を「EPP工法®(NETIS:KT-150081-VE)」と称しております。従来の塗膜除去工法は、有害物質の飛散、騒音の発生、大量の産業廃棄物といった課題がありましたが、本剥離剤は水性のため、環境にやさしく、人体にも安全な製品ですので安心してご使用いただけます。

アクアインプラス

国土交通省
「土木鋼構造用塗膜剥離剤技術」対象品

標準塗布量 500 μm (500g/m²)

低臭・低刺激

消防法 非危険物 / 有機別 非該当

容量:16kg

製造: socomore

標準仕様

商品名	用途	塗布量	施工方法
アクアインプラス202N	水性塗膜剥離剤	500g/m ²	ハケ、ローラー、エアレスプレー
アクアインプラス801	専用クリーナー(水性)	100g/m ²	ウェスによるふき取り他

- *標準仕様は、塗膜厚500μm以下を想定したものです。施工環境により適宜調整してください。
- *塗布量にはロスを含みません。
- *塗布から剥離するまでの時間:標準24時間(既存塗膜の膜厚や剥離する時期の条件により剥離時間は変わります)
- *剥離剤は試験施工などにより、剥離効率化が図れる場合は、~1,000g/m²を目安に調整してください。
- *専用クリーナー(水性)は剥離した面の清浄に用います。汚れや廃塗膜が残存する場合に使用を推奨します。

特長

安全で安心

シンナーなどの溶剤を含まない水性一液塗料剥離剤を使用していますので、これまでの剥離剤と比較して、火災の心配もなく安全に作業できます。
*剥離剤で剥離除去・回収した塗膜は、消防法上指定可燃物に分類されます。

使い方が簡単

剥離剤を既存の塗膜面に塗布するだけ。あとは自然に塗膜が持ち上がり、きれいに分離します。

後処理が容易

プラストのようなダスト処理の心配がありません。また、使用用具は水で洗い流すことができ、処理が容易です。用具の洗浄用として、水性専用クリーナーも使用できます。

EPP工法®の作業手順



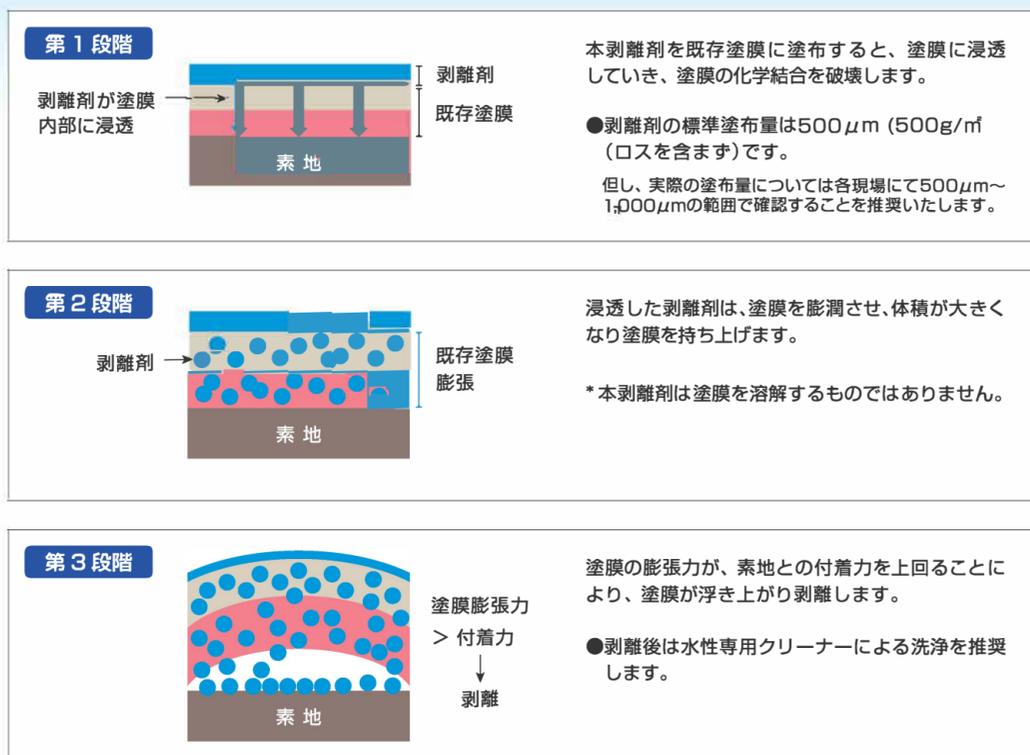
対応塗料

	塗料	評価
外面塗装用上塗・中塗	長油性フタル酸樹脂塗料(長油性アルキド樹脂塗料)	○
	塩化ゴム塗料	○
	ポリウレタン樹脂塗料	○
	フッ素樹脂塗料	△
内面塗装	無溶剤系変性エポキシ塗料	×
	変性エポキシ樹脂塗料	○
前処理・下塗	フェノール樹脂 MIO塗料	○
	エポキシ樹脂塗料	○
	鉛系さび止め塗料	○
	鉛丹さび止め塗料	△
	エッチングプライマー・ウォッシュプライマー	○
	有機ジंक	△
	無機ジंक・ガラスフレーク塗料	×

・さび・黒皮は剥離不可能

○: 剥離効果が高い △: 剥離可能 ×: 剥離不能

EPP工法®による剥離の仕組み



安全性/環境性について (アクアインプラス 単体について記載)

消防法	非危険物に分類されるため、管理が容易です
毒物及び劇物取締法	該当せず
労働安全衛生法	SDS対象物質、表示物質:ベンジルアルコール
PRTR法対象物質	なし
有機溶剤中毒予防規則	該当せず
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物
生分解性参考値	平均100% _{128日} OECD 301C
魚毒性試験参考値	LC50,96hr: 650mg/L
低臭・低刺激	低臭・低刺激のため扱いも簡単です